



6年生の皆さんご卒業おめでとうございます！

「なりたい自分になるために、学び挑戦し続けよう」

87名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

みなさんと過ごした2年間を振り返ってみると、やはり、「新型コロナウイルス感染症」に振り回された2年間でした。目に見えない「ウイルス」のため、私たちの学校生活は一変し、今まで取り組んできたものが、中止や制限がかかるなど、本当に大変な2年間でした。その中で、「何も出来ない、何もしない。」ではなく、「今のこの時期だからこそ出来ること、出来る方法を考えてやってみる。」ことの大切さを感じました。

集会などは、オンラインを使って形を変え実施することが出来ました。回を重ねる毎に、内容もぐっと良くなってきました。授業のスタイルもタブレットPCを活用して、友だちの考えを共有したり自ら写真を撮ってコメントを考えたり、デジタルへの対応も出来るようになってきました。

さて、みなさんが生まれた頃の出来事を調べてみました。

この年は、新型インフルエンザが世界で猛威を振るった年でした。2009年7月22日に太陽が月に全て隠れる皆既日食が全国で見られました。今年の2月、北京オリンピックの女子1000mスピードスケートで金メダルを取った高木美帆選手が、当時15歳（中学校3年生）でバンクーバーオリンピック（2010年2月）に出場しました。なんと、1000mでは、出場した選手の中で最下位の結果でした。

それ以外にも、いろいろな出来事があった年でした。

さて、1学期の始業式の日、根来小学校の学校教育目標は「なりたい自分になるために、学び挑戦し続ける人の育成—あい（結びあい、学びあい、支えあい、高めあい）のある学校—」です。「なりたい自分になるために」たくさんの「あい」をもち、挑戦し続けてほしいと思います。1年後、皆さんにたくさんの「あい」にあふれている姿になれるよう、先生たちは応援し続けますと話しました。

和歌山県の偉人で、パナソニックの創業者である松下幸之助さんは、次のような言葉を残しています。

「人と比較して劣っているといっても、決して恥ずることはない。けれども、去年の自分と今年の自分を比較して、もし今年の自分が劣っているとしたら、それこそ、恥ずるべきことである。」
去年の自分に比べて今年の自分はどれほど成長できたか。少しでも前に進めたかどうか。そして来年はどのような自分でありたいか。自分の未来は、自分で創るということ。自分が負けてはならないのは、他の人ではなく自分自身の弱さだということです。

もちろん、「報われる努力」だけでなく「報われない努力」もあります。しかし、挑戦し続けたという結果は必ず次へのステップになるはずで。みなさんのこれからの可能性を信じ、活躍を期待しています。

根来小学校長 柏木香三

6年生の皆さんご卒業おめでとうございます。今年度もコロナウイルス感染拡大のため突然学校が休校になったり様々な行動が制限されたりと、大変な1年だったと思います。このような状況の中でも皆さんは、学業に励み、仲間と過ごした日々が大切な経験となったことでしょう。これからも元気いっぱいねごろっこの成長・活躍を期待しています。校長先生はじめ諸先生方、保護者の方々、生徒の皆さん、1年間育友会活動にご協力いただきありがとうございました。

育友会

制服のリユース回収運動 実施中です！

学校や家庭において、物の価値や大切さを学ぶためにリユース活動を行っております。リユース用品が必要な方はお気軽に学校までご相談ください。